

「口ナキ」から「料」

3千~9千円の自己負担

これまで全額公費負担だ

省は周知を徹底したいとし

ている。

った高額な新型コロナウイルスの治療費代が10月1日から有料となる。医療費の窓口負担割合に応じて3千~19千円の自己負担が生じ、支払額に上乗せされる。医療機関を受診した人が混乱しないよう厚生労働

省は周知を徹底したいとし

ている。

有料となる薬は抗ウイルス薬の「アブリオやパキロビッド、ソコーバなど」。10月以降は薬の種類にかかわらず、医療費の自己負担が生じる。医療機関を受診した人は6千円、1割の人には3

新型コロナ治療薬の自己負担額

医療費の負担割合	これまで	10月1日~2024年3月末
1割負担		3000円
2割負担	無料	6000円
3割負担		9000円

について政府は、患者の急激な負担増を避ける狙いで、来年3月末まで治療費代の支援を続けるとしたため、自己負担が最大9千円

に抑えられる。4月以降には通常の対応への完全移行を目標している。出費を抑えるための受診控えも懸念される。厚生労働省は「必要な人が治療を受けられるように支援措置を残した。具合が悪ければ医療機関にかかるてほしい」と話している。

一人分の薬価は「アブリオビッド約9万4千円、パキロビッド約9万9千円、ソコーバ約5万2千円で、インフルエンザ治療薬のタミフルなど」で窓口での支払額は千円程度だったが、治療費代3千円が上乗せされる。

新型コロナの医療体制に